



## 安全データシート

Page 1 of 7

LOCTITE 243 MEDIUM STRENGTH THREADLOCKER known as 243  
Thrdlock 250ML EN/CH/JP A/P

SDS No. : 316211  
V001.4

改訂: 21.05.2015

発行日: 29.12.2015

### 1. 化学物質等及び会社情報

製品コード : 1311322  
製品名 : LOCTITE 243 MEDIUM STRENGTH THREADLOCKER known as 243 Thrdlock 250ML  
EN/CH/JP A/P

#### 会社名 :

ヘンケルジャパン株式会社  
東京都品川区東品川2-2-8  
スフィアタワー天王洲 14F  
140-0002  
電話番号 : +81 (45) 758-1820  
FAX番号 : +81 (45) 758-1826

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類 :

##### 危険有害性クラス

皮膚感作性  
水生環境有害性(急性)  
水生環境有害性(長期間)

##### 危険有害性区分

区分1  
区分2  
区分2

#### GHSラベル要素:

##### 絵表示:



##### 注意喚起語:

警告

<b>危険有害性情報:</b>	H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ H411 長期継続的影響によって水生生物に毒性
<b>安全対策</b>	P261 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。 P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 P273 環境への放出を避けること。 P280 防護手袋を着用する。
<b>応急措置:</b>	P302+P352 皮膚に付着した場合：多量の水と石けんで洗うこと。 P333+P313 皮膚刺激または発疹が生じた場合：意思の診断/手当てを受けること。 P362+P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。 P391 漏出物を回収すること。
<b>廃棄:</b>	P501 廃棄するときは、適用法令、および製品特性に従い、適切な処理および廃棄施設に内容物/容器を廃棄すること。
<b>その他の危険有害性:</b>	適切に使用した場合特になし。

製品ラベルの有害性情報は、個別の製品安全データシートの記載内容と異なる場合があります。

### 3. 組成、成分情報

単一製品・混合物： 混合物  
化学特性： 嫌気性接着剤

#### 危険有害成分及び濃度

成分	wt%
架橋助剤	>= 1 - < 10 %
ポリグリコールジメタクリレート	20 - 30 %
添加剤	>= 1 - < 10 %
ジメタクリレートモノマー	20 - 30 %
脂肪酸アミド	>= 1 - < 10 %
可塑剤	20 - 30 %
変性シリカ	1 - 10 %
ポリエチレン	1 - 10 %
グリコール類	1 - 10 %

### 4. 応急処置

**皮膚にかかった場合：** 流水とせっけんでよく洗い流すこと。  
医師の診察を受けること。

**眼に入った場合：** 直ちに流水で数分間注意深く洗うこと。必要な場合は医師の診察を受けること。

- 飲み込んだ場合：** 口をすすぐこと。水を1-2杯飲ませること。無理に吐かせないこと。医師の診察を受けること。
- 吸入した場合：** 新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。医師の診察を受けること。

## 5. 火災時の措置

- 消火方法：** 火災が発生した場合、泡沫消火剤か粉末消火剤を使用すること。
- 消火剤：** 二酸化炭素、泡、粉末
- 火災時の分解物質：** 炭素酸化物、窒素酸化物、刺激性有機蒸気。
- 保護具：** 自給式呼吸器および出動服の様な全身保護服を着用すること。

## 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項：** 皮膚および眼への接触を避けること。
- 環境に対する注意事項** 下水管に流さないこと。
- 除去方法：** 少量の場合紙タオル等で拭き取り、廃棄用容器にて保管すること。  
大量の漏洩に対しては、不活性な材質のものに吸収させ廃棄するまで、密閉できる容器に保管する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い** 感作の危険を防ぐため長時間若しくは、繰り返しの接触は避けること。  
よく換気された場所で使用すること。  
皮膚および眼への接触を避けること。  
取扱い後は十分に洗うこと。
- 保管：** しっかりした換気／排気を確保すること。  
原容器に入れたまま、8-  
21° Cで保管する。異物混入のおそれがあるため使用した液は元の容器へ戻さないこと。

## 8. 暴露防止及び保護措置

**設備対策:** 一般的な換気が空気汚染をコントロールするには十分でない場合、局所排気装置を設置すること。

**保護具:**

**呼吸用保護具:** 換気の良い場所でのみ使用すること。

**眼の保護具:** 保護眼鏡を着用すること。

**皮膚及び身体の保護具:** 適切な保護服を着用すること。

## 9. 物理的及び化学的性質

形状:	液体
色:	青
臭い:	特異臭
pH:	データ無し
融点/凝固点:	データ無し
沸点:	> 149 ° C (> 300.2 ° F)
引火点:	> 93 ° C (> 199.4 ° F)
自然発火温度:	データ無し
蒸気圧:	< 13,3 pa
蒸気密度:	データ無し
比重:	1,09 g/cm <sup>3</sup>
n-オクタノール/水分配係数:	データ無し

## 10. 安定性及び反応性

**安定性:**

**化学的反応性:** 強酸化剤  
還元剤  
強アルカリ  
脱酸素剤  
その他の重合開始剤  
重金属

**化学的安定性:** 推奨保存状態下では安定している。

**避けるべき条件** 仕様書に従った使用であれば分解しない。

**危険有害な分解生成物:** 炭素酸化物

### 1 1. 有害性情報

成分	危険有害性クラス	危険有害性区分	ばく露経路	標的臓器
架橋助剤	急性毒性	区分4	経口	
ポリグリコールジメタクリレート	分類の必要なし			
添加剤	眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分2A		
ジメタクリレートモノマー	皮膚感受性	サブカテゴリ1B		
可塑剤	分類の必要なし			
変性シリカ	分類の必要なし			
ポリエチレン	分類の必要なし			
グリコール類	分類の必要なし			

**一般毒性情報:** 動物実験検査データなし。

**経口毒性:** Acute toxicity estimate (ATE) : > 2.000 mg/kg  
方法: 算定方法

**吸入毒性:** Acute toxicity estimate (ATE) : > 20 mg/l  
ばく露時間: 4 h  
試験環境: 蒸気  
方法: 算定方法

### 1 2. 環境影響情報

成分	危険有害性クラス	危険有害性区分
架橋助剤	水生環境有害性(長期間)	区分2
添加剤	水生環境有害性(長期間)	区分2
脂肪酸アミド	水生環境有害性(急性)	区分1
	水生環境有害性(長期間)	区分1

**一般環境有害性情報:** 下水管/地表水/地下水中に捨てないこと。  
水生生物に有害である。  
水生環境に長期の可逆効果をもたらす恐れがある。

### 1 3. 廃棄上の注意

**推奨廃棄方法:** 国及び地方自治体の規則に従って廃棄すること。

**汚染容器包装の廃棄方法:** 使用後は、残留物の付着したチューブ、箱、ボトルは化学汚染物質として公認された埋め地に処理するか焼却する。廃棄処理は必ず法規制に従って行うこと。

#### 14. 輸送上の注意

##### Marine transport IMDG:

Class:	9
Packing group:	III
UN no.:	3082
Label:	9
EmS:	F-A,S-F
Seawater pollutant:	P
Proper shipping name:	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N. O. S. (Fatty acid amide)

##### Air transport IATA:

Class:	9
Packing group:	III
Packing instructions (passenger)	964
Packing instructions (cargo)	964
UN no.:	3082
Label:	9
Proper shipping name:	Environmentally hazardous substance, liquid, n. o. s. (Fatty acid amide)

#### 15. 適用法令

労安法:	名称等を通知すべき有害物 シリカ
消防法	第4類引火性液体, 第三石油類 非水溶性
毒劇物法:	該当しない
PRTR法:	該当しない

#### 16. その他の情報

発行日:	29.12.2015
問い合わせ先:	近藤 由紀子、製品安全性及び規制業務担当

**注意:**

ここに表明したデータは信頼性があると考えられるが単に情報として挙げただけである。Henkel社のコントロールが及ばない人々が得た結果については責任を持たない。Henkel製品の適切性、特定目的で使用する際の製造方法、Henkel社製品の取扱いや使用に関わる危険性から人や資産を守るための予防処置などの見極めはユーザーの責任の元行われるべきである。以上の説明の元、Henkel社は、明示・暗示に関わらず、特定用途に対する市場性・適切性を含み、製品の販売・使用に関わるすべての保障への責任を拒否する。更にHenkel社は、損益を含むいかなる2次的・偶発的損害についての責任も拒否する。

この情報は現況での化学的根拠と発送された製品の状況を元に作成したものである。またこれは安全を説明するための情報で、製品の特性を保証するものではない。

MSDSの内容に関するお問い合わせ ヘンケルジャパン株式会社  
製品安全性及び規制業務担当 横浜市磯子区新磯子町27-7 TEL:045-758-1780  
FAX:045-758-1771